

1 にほん ここ。 () ここ？



2 () ここ

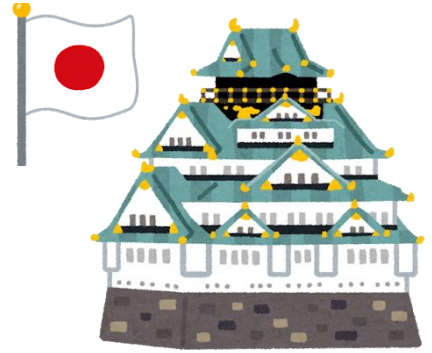


3 ここどこ？

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



【解説】

(1) 初期の語彙「ここ」だけで日本や世界の地名・国名の基礎知識を測ることができます。
サバイバル日本語なので、あえて「ここは日本です。」のような文型指導はしません。

(2) 授業の進め方

1 世界地図で「日本、ここ。」

①世界地図で日本を指して、「ここ。」と言います。

②次に生徒が知っていそうな国を指して、

「ここ、アメリカ。」「ここ、ブラジル。」などと言います。

③尋ねている途中で、「ここ、フランス?」「ここ、ロシア?」などの

質問調で国名を訪ねてもよいでしょう。

*世界地理の知識で生徒の学習歴が把握できます。

④最後に、生徒の国名を言って、(例えば「ここ、タイ?」) 先生が指している所が正しいかどうかを確認します。

*そのとき、わざと違う場所を2~3か所指して「ここ?」「ここ?」と尋ねます。

生徒によっては「どこ?」と言って「どこ」という語彙を教えてもよいでしょう。

「どこ?」と言うときは困った表情をして尋ねましょう。

⑤生徒によっては「日本、ここ。」という逆の言い方もできることを示してもよいでしょう。

*ただし、「日本、ここ。」と言うときは、「日本」と言ってから間をおき、指さしながら「ここ。」と言います。

逆に「ここ、日本。」というときは、「ここ」と言うと同時に日本の位置を指さし、少し間を空けて「日本。」と言うようにします。



2 日本地図で「富士山、ここ。」

①世界地図で「ここ、日本。」と言ったあと、日本地図の方を指し、「日本。」と言います。

大丈夫だと思いますが、念のため2が日本地図だということを押さえておきましょう。

②日本地図を使って、日本の有名な観光地や都市の大まかな位置を教えます。

「ディズニーランド、ここ。」 「東京、ここ。」

「富士山、ここ。」 「京都、ここ。」 「広島、ここ。」

③最後に自分が住んでいる県名や都市名を言って、日本地図での位置を教えます。

④生徒が知っている地名の写真やイラストをネットからダウンロードして付け加えてください。

⑤イラストや写真をダウンロードして1枚ずつの絵カードにし、1枚枚ずつ見せて、

「ここ、〇〇?」のように尋ね、「はい」か「いいえ」で答えさせてもよいでしょう。

3 世界の観光地で「ここ、〇〇?」

①の絵を指して「ここ、」と言い、間を空けて「日本?アメリカ?」と尋ねます。

生徒は「アメリカ!」と言うと思いますが、「ここ、アメリカ。」言わなくてもよしとします。

②以降の絵も、「ここ、〇〇?△△?」というように二者択一で答えられるようにします。

*答えを示して選ばせることで、何を問われているのかのヒントになります。

*1の④で「どこ」を教えた生徒には、二者択一で尋ねるほかに「ここ、どこ?」という言い方で質問してもよいでしょう。